



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年4月26日

上場会社名 株式会社 システムソフト 上場取引所 東
 コード番号 7527 URL <https://www.systemsoft.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉尾 春樹
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部長 (氏名)富田 保徳 (TEL)092-732-1515
 四半期報告書提出予定日 2019年5月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績 (2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	1,257	△2.4	△41	—	△57	—	△85	—
2018年9月期第2四半期	1,287	—	△11	—	△61	—	△90	—

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 △88百万円 (—%) 2018年9月期第2四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	△1.25	—
2018年9月期第2四半期	△1.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	7,143	6,388	89.2
2018年9月期	7,412	6,612	89.0

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 6,388百万円 2018年9月期 6,593百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等になっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2019年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想 (2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	2,600	5.1	150	—	120	—	60	0.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期2Q	67,974,560株	2018年9月期	67,974,560株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	31,719株	2018年9月期	31,719株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期2Q	67,942,841株	2018年9月期2Q	67,942,841株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年10月1日～2019年3月31日)におけるわが国の経済は、政府の経済政策の推進を背景に雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題など不確実な経済情勢の影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、IT需要の高まりにより、顧客のソフトウェア関連設備投資は堅調に推移し、プロジェクトマネージャー等の高度な人材をはじめとしたIT技術者全般の需要は依然として高く、慢性的な人材不足の状態が続いております。

このような環境の下、当社グループは、子会社株式会社DigiIT(デジット)の事業開始による新たなグループ体制でのスタートを切り、RPAソリューションやWEBコンサルティングといったデジタルトランスフォーメーション(DX、X DIGITAL)領域へと一層注力してまいりました。また、積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成に取り組みながら、常駐型(SES:お客様先に常駐して業務を請け負うシステムエンジニアリングサービス)の案件の獲得と、システム開発分野全般のサービス価値向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して30百万円(2.4%)減少し1,257百万円、営業損失は41百万円(前年同期は営業損失11百万円)となりました。また、経常損失は57百万円(前年同期は経常損失61百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は85百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失90百万円)となりました。

なお、当社におきましては開発案件の受注が下期に集中する傾向があることから、2018年11月5日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスを提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各分野において継続して案件を獲得した結果、売上は計画通り推移し、また、原価の圧縮により利益面を向上することができました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前年同期に比して59百万円(5.7%)減少し987百万円、セグメント利益は前年同期に比して21百万円(296.4%)増加し28百万円となりました。

② マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、RPA事業の拡大に伴い、大口顧客を獲得しているものの、仕様変更に伴う受注の遅れにより、売上、利益率が低下いたしました。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前年同期に比して49百万円(20.7%)増加し287百万円、セグメント損失は13百万円(前年同四半期はセグメント利益10百万円)となりました。

③ その他事業

子会社株式会社S2iはIoTに関連する商品やサービスの提供事業を、株式会社アライアンステクノロジーは当社の事業分野に関連した投資事業を、それぞれ行っております。

これらにより、その他事業の売上高は前年同期に比して2百万円(70.3%)減少し1百万円、セグメント損失は2百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は前連結会計年度末に比べ82百万円減少し、3,386百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少122百万円、仕掛品の増加51百万円等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ186百万円減少し、3,757百万円となりました。これは主に、償却によるのれんの減少84百万円、長期前払費用の減少65百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ268百万円減少し、7,143百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、313百万円となりました。これは主に、株主優待引当金の減少37百万円、未払法人税等の増加30百万円等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ32百万円減少し、441百万円となりました。これは主に、社債の減少20百万円、長期未払金の減少11百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、755百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ224百万円減少し、6,388百万円となりました。これは主に、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ141百万円減少し、1,952百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、36百万円（前年同期16百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の増減額の減少18百万円、仕入債務の増減額の増加81百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、21百万円（前年同期55百万円の減少）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入の減少58百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出の増加93百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、155百万円（前年同期314百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の返済による支出の増加155百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期通期の業績予想につきましては、受注の遅れ、人材不足による開発体制確保の課題はあるものの、当社におきましては開発案件の受注が下期に集中する傾向があること、下期に不動産分野の大型案件の受注を見込んでいることから、2018年11月5日に公表いたしました通期業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,074,562	1,952,274
受取手形及び売掛金	805,878	792,338
営業投資有価証券	468,430	455,663
仕掛品	33,810	85,078
その他	85,975	101,146
流動資産合計	3,468,658	3,386,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,411	14,719
その他(純額)	9,072	14,376
有形固定資産合計	23,484	29,095
無形固定資産		
のれん	2,471,068	2,386,210
その他	349,250	327,293
無形固定資産合計	2,820,319	2,713,504
投資その他の資産		
その他	1,100,909	1,014,613
貸倒引当金	△1,013	—
投資その他の資産合計	1,099,896	1,014,613
固定資産合計	3,943,699	3,757,213
資産合計	7,412,357	7,143,714
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	116,806	128,456
未払法人税等	340	31,173
株主優待引当金	37,382	—
その他	171,133	154,090
流動負債合計	325,662	313,720
固定負債		
社債	320,000	300,000
資産除去債務	2,356	2,371
その他	151,551	139,532
固定負債合計	473,907	441,903
負債合計	799,570	755,624

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,506,090	1,506,090
資本剰余金	4,262,292	4,262,292
利益剰余金	831,932	610,576
自己株式	△8,046	△8,046
株主資本合計	6,592,267	6,370,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	955	△2,142
為替換算調整勘定	137	30
その他の包括利益累計額合計	1,092	△2,112
新株予約権	10,792	10,792
非支配株主持分	8,634	8,498
純資産合計	6,612,787	6,388,090
負債純資産合計	7,412,357	7,143,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
売上高	1,287,644	1,257,251
売上原価	1,063,261	998,911
売上総利益	224,383	258,339
販売費及び一般管理費	236,280	299,735
営業損失(△)	△11,896	△41,395
営業外収益		
受取利息	187	14
受取配当金	208	187
助成金収入	—	1,026
投資有価証券売却益	4,931	—
消費税差額	—	15,043
その他	250	311
営業外収益合計	5,577	16,582
営業外費用		
支払利息	424	379
支払手数料	12,451	10,933
為替差損	16,608	6,649
株主優待関連費用	22,793	12,472
その他	2,502	2,155
営業外費用合計	54,780	32,590
経常損失(△)	△61,100	△57,403
特別損失		
固定資産除却損	8,730	—
関係会社株式評価損	10,000	—
本社移転費用	8,741	—
特別損失合計	27,472	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,572	△57,403
法人税、住民税及び事業税	1,874	24,859
法人税等調整額	—	2,983
法人税等合計	1,874	27,842
四半期純損失(△)	△90,446	△85,245
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△182	△136
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△90,264	△85,109

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△90,446	△85,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,935	△3,098
為替換算調整勘定	178	△106
その他の包括利益合計	△4,757	△3,204
四半期包括利益	△95,204	△88,450
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,021	△88,314
非支配株主に係る四半期包括利益	△182	△136

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年10月1日 至2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,572	△57,403
減価償却費	90,671	82,095
のれん償却額	84,858	84,858
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,013	△1,013
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,190	—
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△37,382
受取利息及び受取配当金	△395	△201
支払利息	424	379
固定資産除却損	8,730	—
関係会社株式評価損	10,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,737	13,539
たな卸資産の増減額(△は増加)	△20,733	△51,268
有価証券の増減額(△は増加)	8,253	10,961
仕入債務の増減額(△は減少)	△69,862	11,649
未払金の増減額(△は減少)	14,308	△11,796
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,060	5,178
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△11,981	—
為替差損	16,549	6,649
その他	△32,233	△27,376
小計	△1,838	28,868
利息及び配当金の受取額	231	201
利息の支払額	△417	△379
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△335	7,859
移転費用の支払額	△13,824	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,184	36,550
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△512	△8,998
有形固定資産の売却による収入	—	10
無形固定資産の取得による支出	—	△3,767
関係会社貸付けによる支出	△20,000	—
差入保証金の差入による支出	—	△9,183
差入保証金の回収による収入	58,500	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△93,519	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,531	△21,938

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の返済による支出	△155,411	—
リース債務の返済による支出	△3,243	—
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
配当金の支払額	△135,885	△135,885
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,540	△155,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△915	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△387,171	△141,273
現金及び現金同等物の期首残高	1,747,153	2,074,562
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	18,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359,981	1,952,274

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	システム ソリューション 事業	マーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,045,813	238,051	1,283,864	3,780	1,287,644	-	1,287,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	952	-	952	-	952	△952	-
計	1,046,765	238,051	1,284,816	3,780	1,288,596	△952	1,287,644
セグメント利益又は 損失(△)	7,151	10,066	17,217	△362	16,855	△28,752	△11,896

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△28,752千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	システム ソリューション 事業	マーケティング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	987,052	269,074	1,256,127	1,123	1,257,251	-	1,257,251
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	18,135	18,135	-	18,135	△18,135	-
計	987,052	287,209	1,274,262	1,123	1,275,386	△18,135	1,257,251
セグメント利益又は 損失(△)	28,349	△13,922	14,427	△2,168	12,259	△53,654	△41,395

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△53,654千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

該当事項はありません。